

【開催速報！大阪で初めての醍醐寺の大規模名宝展】

2024年は開創1150年、醍醐寺の歴史と美術を貴重な文化財で迎える

「開創1150年記念 醍醐寺 国宝展」開催

2024年6月15日（土）～8月25日（日）／大阪中之島美術館 4階展示室

大阪中之島美術館（所在地：大阪市北区 館長：菅谷富夫）は、**大阪で初めて**となる醍醐寺の大規模名宝展「開創1150年記念醍醐寺国宝展」を、2024年6月15日（土）～8月25日（日）の会期で開催いたします。**本展は醍醐寺の開創1150年を記念し、貴重な国宝が多数展示されるため巡回はありません。**

真言宗醍醐派の総本山である醍醐寺（京都市伏見区）は、平安時代前期の貞観16年（874）、りげんだいししょうぼう理源大師聖宝によって建立されました。真言密教の修法や加持祈祷などの実践を重視する寺として発展し、歴代の皇族や公家、武家との深い関わりから貴重な文化財が多数伝わっています。

大阪では初めての大規模企画となる本展では、醍醐寺の歴史と美術を「山の寺」「密教修法のセンター」「桃山文化の担い手」という三つのテーマで構成します。国宝《文殊渡海図》、重要文化財《不動明王坐像 快慶作》、《舞楽図 俵屋宗達筆》など、創建以来脈々と継承されてきた貴重な寺宝を紹介します。

なお、**本展の詳細は、2024年3月頃に発表を予定**しております。概要は以下の通りです。



重要文化財《不動明王坐像 快慶作》
建仁3年（1203）



国宝《文殊渡海図》 鎌倉時代（13世紀）

※いずれも、画像提供：奈良国立博物館

《報道関係者お問い合わせ先》

「開創1150年記念 醍醐寺 国宝展」PR事務局（株式会社TMオフィス内）担当：馬場・永井・西坂

TEL：090-6065-0063（馬場）090-5667-3041（永井）

テレフォンセンター：050-1807-2919 FAX：06-6231-4440 E-MAIL：daigoji@tm-office.co.jp

開催概要

展覧会名：開創1150年記念 醍醐寺 国宝展

会期：2024年6月15日（土）～8月25日（日） ※会期中に展示替えがあります

会場：大阪中之島美術館 4階展示室 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島4-3-1

開場時間：10:00～17:00（入場は16:30まで）

休館日：月曜日、7/23（火）※7/15（月）、8/12（月）は開館

監修：内藤 栄（大阪市立美術館 館長）

主催：大阪中之島美術館、総本山醍醐寺、日本経済新聞社、テレビ大阪

展覧会構成：第一章：山の寺 第二章：密教修法のセンター 第三章：桃山文化の担い手

大阪中之島美術館WEBサイト：<https://nakka-art.jp/>



◆**出展作品の詳細や開催概要など、本展の詳細は、2024年3月に発表を予定しております。**

▼本展の広報用画像貸出について

以下の【1】～【7】の画像を広報用として貸出いたします。

※以下フォームもしくは別展の広報用画像申込書にてお申込みください。

画像貸出申込フォームURL：<https://forms.gle/aPeYVW5uzKFGXTS46>



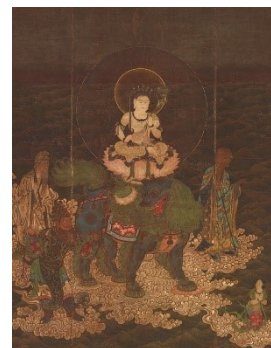
【1】重要文化財
《如意輪観音坐像》



【2】重要文化財
《不動明王坐像 快慶作》



【3】重要文化財
《金剛夜叉明王像》



【4】国宝《文殊渡海図》



【5】《豊臣秀吉像》



【6】重要文化財《軍荼利明王像
（上醍醐五大堂五大明王像のうち）》



【7-1】重要文化財《舞楽図
俵屋宗達筆》左隻



【7-2】重要文化財《舞楽図
俵屋宗達筆》右隻

※いずれも、画像提供：奈良国立博物館

《報道関係者お問い合わせ先》

「開創1150年記念 醍醐寺 国宝展」PR事務局（株式会社TMオフィス内）担当：馬場・永井・西坂

TEL：090-6065-0063（馬場）090-5667-3041（永井）

テレフォンセンター：050-1807-2919 FAX：06-6231-4440 E-MAIL：daigoji@tm-office.co.jp